

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(11月分)について

2023年11月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年度 同月取扱高	2019年度 同月比
海外旅行	8,764,311	689,582	1,271.0%	14,591,968	60.1%
国内旅行	16,326,356	15,791,823	103.4%	14,812,867	110.2%
訪日旅行	660,244	163,370	404.1%	523,645	126.1%
合計	25,750,911	16,644,775	154.7%	29,928,480	86.0%

【概況】

11月の営業概況は、総取扱額257億5,091万1千円、2019年同月比86.0%となりました。海外旅行は、11月の出国日本人数が2019年度比で62.5%となり、前月からやや好転したものの、訪日外客数の回復率100%に比べて市場の回復は緩慢です。

こうした中、当社では、テレビ通販を利用して創業75周年を記念した旅行商品を全国各地で販売したほか、復便が進むベトナムや堅調な韓国、台湾、香港などアジアの募集告知を強化しました。その結果、アジアを中心に集客が好転したことに加えて、日本発着クルーズも大きく伸長しましたが、海外旅行全体での取扱高は2019年同月比60.1%となり、出国日本人数の回復率と同水準に留まりました。

国内旅行は、本格的な紅葉シーズンを迎え、需要が堅調に推移する中、当社では、秋の国内旅行の需要獲得に向けて全国各地の募集告知を強化しました。その結果、紅葉観賞や自然探勝を楽しむ周遊旅行が伸長し、特に越後、信州、上高地、黒部、白川郷など、秋の人気の観光地を巡る商品の集客が前年を上回りました。また、グレードの高いホテルや旅館を利用する商品やミステリーツアーの人気も継続しました。取扱高は、前年同月比 103.4%、2019 年同月比では 110.2%となり、堅調に推移しました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	2,786,974	2,011,255	138.6%	3,227,594	86.3%
国内旅行	194,951	216,495	90.0%	290,466	67.1%
訪日旅行	14,781	0	—	10,275	143.9%
合 計	2,996,708	2,227,751	134.5%	3,528,337	84.9%

※前年および 2019 年度同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2 社内取引を相殺したものです。

【概況】

11 月の営業概況は、総取扱額 29 億 9,670 万 8 千円、前年同月比 134.5%、2019 年同月比では 84.9%となりました。

海外旅行では、ビザ免除措置停止の影響はあるものの、中国への業務渡航が緩やかに回復しました。また、その他方面においても需要が堅調に推移し、2019 年同月比 86.3%となりました。

国内旅行は、業務出張の取扱いが増加したものの、前年同月の団体旅行が好調であった反動もあり、前年同月比 90%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年度 同月取扱高	2019 年度 同月比
海外旅行	11,207,581	2,697,009	415.6%	17,692,960	63.3%
国内旅行	16,471,594	15,948,296	103.3%	15,004,121	109.8%
訪日旅行	675,025	163,370	413.2%	533,920	126.4%
合 計	28,354,200	18,808,676	150.8%	33,231,001	85.3%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724